

ベナン共和国 アボメ・カラヴィ郡 アボメ・カラヴィ行政区
アイチェジ公立小学校グループ B
開校式

(2025 年 7 月 10 日)

休暇が目前に迫っているにもかかわらず、生徒たちは熱心に登校し、開校式の準備に取り組んでいます。新校舎の周りでは建設瓦礫やゴミが片付けられました。教室の床は水拭きされ、倉庫で出番を待っていた学校用家具も埃が払われました。先生の指導のもと、歌やダンス、そして小さな劇の練習が行われています。

そして 7 月 10 日、ついにその時がやってきました。



建物は晴れやかに飾り付けられました。





子供たちの準備は万端です！



保護者の方々も同様です！



司会進行役がプログラムを説明し、生徒たちによるダンスの出し物を紹介します。



その後、恒例の演説が行われます。



生徒代表の女の子は、演説台から顔を出すために椅子を使わなければなりませんでした。彼女は、嵐で仮設校舎の屋根が吹き飛ばされた後、迅速な支援をいただいたことに対し、皆に感謝を述べました。そして、すべての子供たちがこの新しい教室で学べる新学期を心待ちにしていると語りました。



校長先生と保護者会長からも感謝の言葉が述べられます。



副市長は、この建物を大切に維持管理することを約束しました。



「Actions de Solidarité（連帯の活動）」協会の会長は、建物を丁寧に扱い、そして熱心に勉強するように生徒たちを諭しました。

アーティストが私たちのために数曲歌を披露してくれました。



学校のテコンドークラブによる演武も行われました。



「連帯の活動」協会の会長とその息子さんが、私たちの歌である
「Consommons local（地元のものを愛用しよう）」と一緒に歌いました。



アトランティック県の就学前・初等教育局長が、「Bildungswerk
Westafrika e.V.（西アフリカ教育普及協会）」と「Actions de Solidarité
（連帯の活動）」の両協会の活動と尽力を称賛しました。また、建物にロゴ

が記されているパートナー協会、「Ein Herz für Kinder」および「Humanet」に対し感謝を述べました。

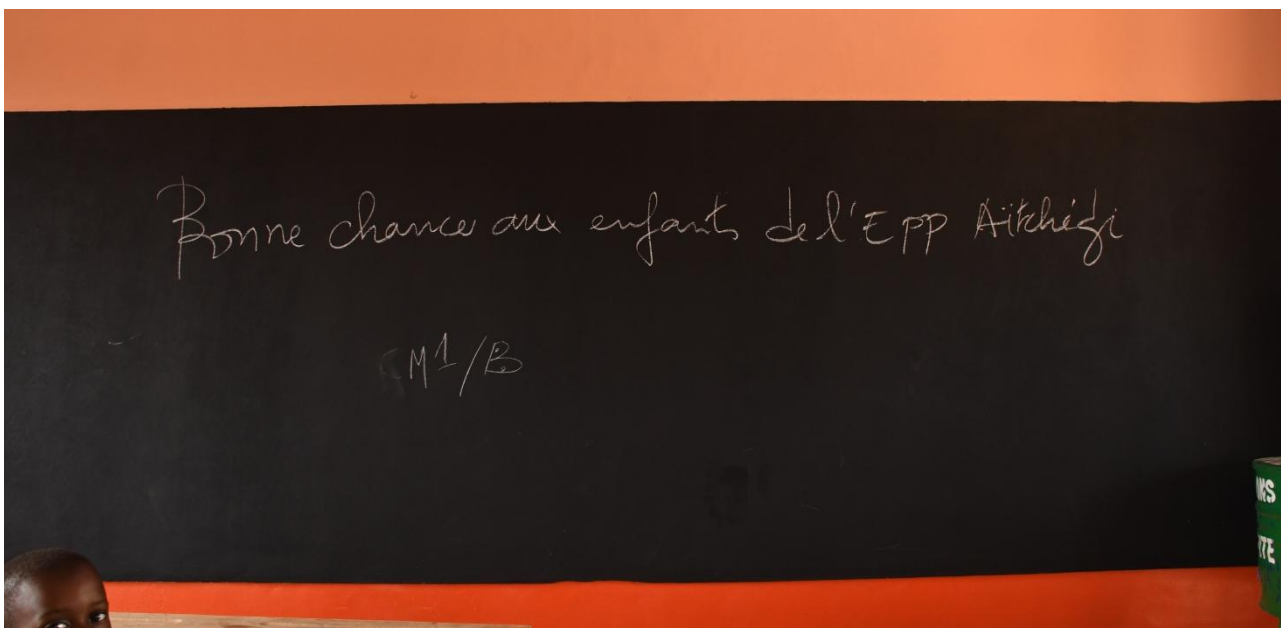


演説の後、新教室の鍵が生徒代表に手渡され、そこから行政の代表者へと鍵が渡されました。



鍵を手にした副市長代理と、生徒を含むすべての来賓が建物の前へと移動します。テープカットが行われた後、新しい教室が開放され、内覧が行われました。





すべての来賓が、生徒たちの今後の成功を祈りました。

このプロジェクトは嵐による被害がもたらした緊急事態から生まれたものでした。このプロジェクトに寄り添い、その寛大さによって実現を可能にしてくださったすべての友人、支援者の皆様に感謝いたします。総費用の75%を支援してくださった「Ein Herz für Kinder」協会に感謝いたします。また、長年にわたり誠実に私たちを支えてくれている「Humanet」協会にも感謝いたします。

最後に、私たちのジュニア建設チームにも感謝を伝えたいと思います。この若き親方たちは、修業時代を無駄に過ごさなかったことを証明し、今日、彼らの師匠たちに名誉をもたらしました。

心より感謝申し上げます！

心を込めて

當田アストリット